

ピープル株式会社
(コード7865)

ホームページ<http://www.people-kk.co.jp/>

**2009年1月期第3四半期(2008/7/21～2008/10/20)の業績概況、並びに
2009年1月期2月度～12月度累積の業績動向**

※2009年1月期の期末決算日：2009年1月20日

＜売上の概況＞

◆第3四半期(2008年7月21日～2008年10月20日)

売上高7億43百万円(前年同期間比 3.9%増)

営業利益 91百万円(" 比 74.6%増)

当第3四半期では、9月度に勃発した世界金融危機による玩具市場の実消費への影響が懸念されはじめました。当四半期終盤の10月度では、年末商戦睨みの出荷が極端に減速し翌月へと先送りされ始め、純玩具ではクリスマス需要に向け先行き不透明を強めています。

景気後退が鮮明になる一方で、当第3四半期の売上高は7億43百万円、前年同期間比3.9%増と当四半期の業績予想から僅かに上方修正となりました。不況に強いと言われる知育商材の下支えや業種の異なる自転車が好調に推移したことによります。

◆11月度・12月度(2008年10月21日～2008年12月20日)

売上高6億81百万円(前年同期間比 1.9%減)

営業利益 1億31百万円(" 比 15.7%減)

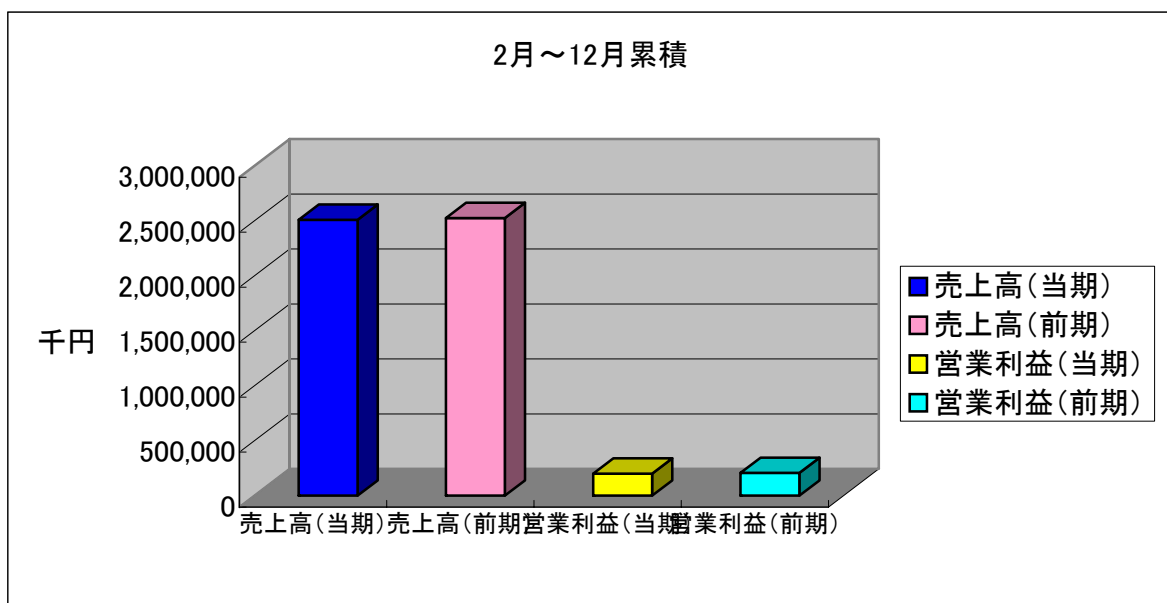
年末商戦出荷のピークを迎える11月度は、店頭セルアウトの著しい鈍化により、玩具市場全般に荷動きが硬直し、さらに翌月へずれ込みました。クリスマスの頂点は、一層見通しのつかない状況が強まりました。このような状況下、当社では知育の目玉新商品の発売に踏み切り、流通人気を集めた事等で補われ売上高の落ち込み幅を抑えました。世界同時不況による心理的購買萎縮は、玩具業界も例外ではありませんでした。

12月度第2週を回っても、玩具市場全般にクリスマス実需要と計画生産に開きがあるまま推移し、問屋段階の在庫消化が進まない事からメーカー出荷も凍結するなど、近年に無い深刻な事態となりました。業界誌では“勝ち組みナシ!!の厳しい商戦”と報道されたほどです。このような状況下、当社では、既に高額品等の消費低迷を見込み、流通への押し込みを一切せず、実需に添う構えでクリスマスに備え、翌1月度の滞留在庫を出来る限り作らない体制にシフトしておりました。その結果、予測に大きな誤差なく、また、比較的消費萎縮の影響を受けにくかった知育カテゴリーや自転車・三輪車等が補いました。

●2009年1月期2月度～12月度

売上高25億9百万円(前年同期間比 0.1%減)

営業利益 2億円(前年同期間比 3%減)



<カテゴリー売上高推移>

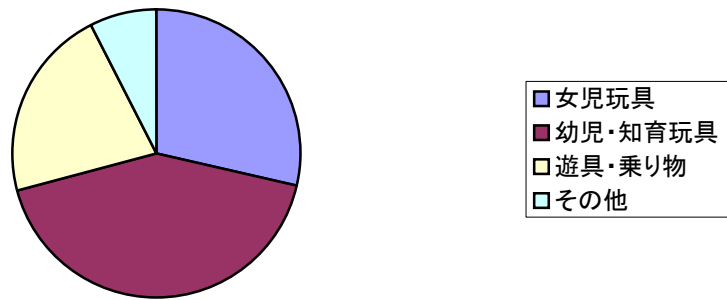
(単位:千円)

商品カテゴリー名	第1四半期売上高(当期) (2008/1/21~2008/4/20)	前年同 四半期 比	第2四半期売上高(当期) (2008/4/21~2008/7/20)	前年同 四半期 比	第3四半期売上高(当期) (2008/7/21~ 2008/10/20)	前年同 四半期 比
女兒玩具	140,849	79.7%	136,262	77.7%	195,828	88.2%
幼児・知育玩具	202,474	104.1%	224,281	97.2%	350,158	111.3%
遊具・乗り物	108,538	100.7%	154,593	157.4%	148,904	132.2%
その他	46,947	73.4%	71,055	103.5%	47,648	73.0%
合計	498,809	91.8%	586,190	102.3%	742,538	103.9%

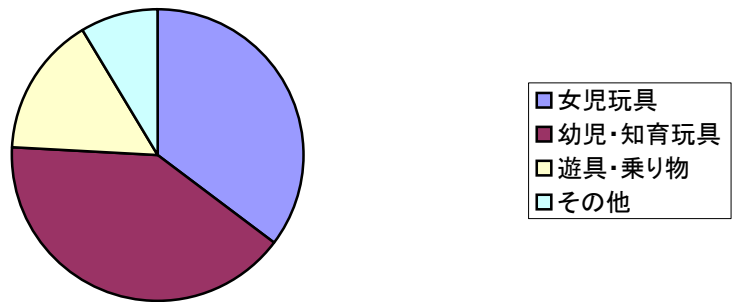
商品カテゴリー名	11月度売上高(当期) (2008/10/21~ 2008/11/20)	前年同 月比	12月度売上高(当期) (2008/11/21~ 2008/12/20)	前年同 月比
女兒玩具	107,671	82.6%	139,190	74.1%
幼児・知育玩具	113,825	89.7%	164,140	107.4%
遊具・乗り物	63,525	138.3%	69,934	219.2%
その他	14,710	189.1%	8,062	75.1%
合計	299,731	96.4%	381,326	99.5%

＜カテゴリー構成比の2～12月度累積、前年同期対比＞

2009年1月期 2月度～12月度累積構成比



2008年1月期 2月度～12月度累積構成比

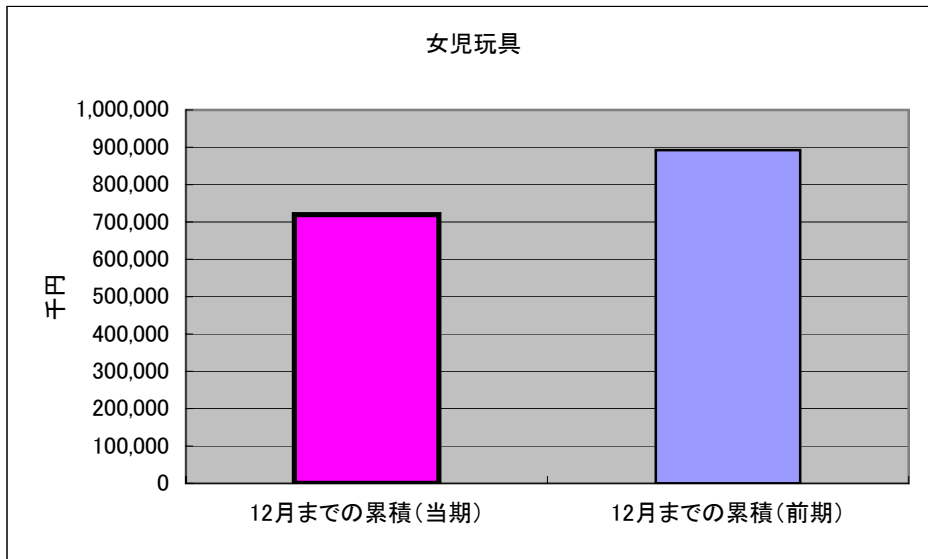


＜2008年1月21日～2008年12月20日に発売した新商品＞

※価格は標準小売価格(税別)

商品カテゴリ一名	商品名	価格
女兒玩具	「あんよが上手♪ぽぽちゃん」	¥4,680
	「お風呂もお部屋もいっしょぽぽちゃん」	¥3,980
	「やわらかお肌の新着回しぽぽちゃん」	¥4,680
	「スリング入り子育てお道具10点セット」	¥3,280
	「モンキーパンツぽぽちゃん」柄2種	各¥4,280
	良いところ取りセット	¥10,540
	着せかえコレクション「お風呂ぽぽちゃん水着セット」	¥1,400
	着せかえコレクション「ピンクのドレススーツ」	¥1,400
	着せかえコレクション「新着回しごっこ」	¥2,480
	着せかえコレクション「モンキーパンツ」柄2種	各¥1,400
「ピンポーン♪付きぽぽちゃん家(ち)」	¥4,580	
乳児・知育玩具	「ノンキャラ良品シリーズ」2008年新商品6種	¥680～¥940
	「赤ちゃん専用新聞 大判」	¥1,180
	「うちの子1歳 おふろの知育」	¥3,300
	「起きろ！朝いち番」太陽戦士チャレンジャーキット	¥4,750
	指先の知育シリーズ「熱中！ポキポキ」他 計3種	¥1,200～¥1,420
	「1歳専用安心ペン」	¥1,200
	「あんよの知育」全5品	¥1,200～¥2,850
	「おふろでお歌デビュー」	¥3,300
「熱中知育歩きメデス」	¥12,800	
遊具・乗り物	「チェーン式三輪車マークⅡ」プレミアム・シャインイエロー	¥19,800
	「いきなり自転車Ⅱ」新色(スカイ・ピーチ)	各¥22,800
	「いきなり自転車かじとり式」2色	各¥22,800
	「白いわんぱくジム」	¥19,800
	「体感ブロック」	¥19,800

＜女兒玩具カテゴリー＞

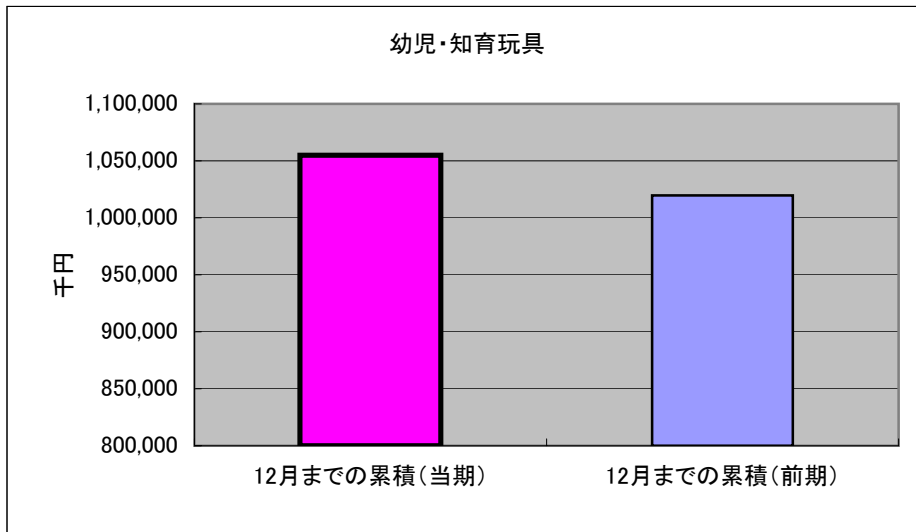


純玩具部門の女兒玩具カテゴリーは、前年の多品種のギミックプレイドールの過剰訴求等で需給バランスが崩れ過剰供給市場と見え、その為に上半期では各社値引きや低価格帯のPBブランド品等がさらに訴求強化されました。

その影響を受け、更に当第3四半期では抱き人形全体の需要鈍化傾向が進むという悪循環となりつつあります。

当社ではこのような市場背景を勘案し、例年恒例の年末限定品等を極力控え、“愛情の知育人形”としての広告による差別化に重点を置いた販売戦略に切り替え、消極的と言われても、来年度に繋げていくための最良の策に踏み切っています。

<乳児・知育玩具>

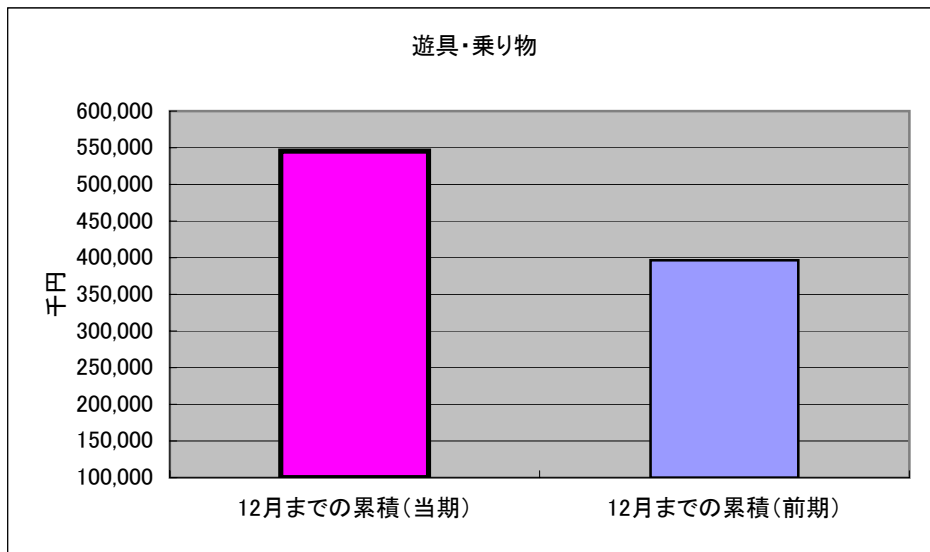


不況の時には“ためになるおもちゃ”が売れるといいますが、消費不透明な背景から確実に売れるものを販売の主力にする傾向は、お盆商戦などに強くみられるようになりました。

幼児・知育カテゴリーでは、既存品のロングセラー「やりたい放題BIG版」等が商品の底力を見せ、確実に売上を固めていることは当年の特徴といえます。

例年では類似商品の値下げキャンペーン等に販売を阻害されていますが、当年は同類商品群も原価高への対策に傾き値下げ圧力が弛やかであるのも背景の違いです。乳幼児玩具シリーズは、当期第3四半期で年間100万個を突破し未だ拡大しています。

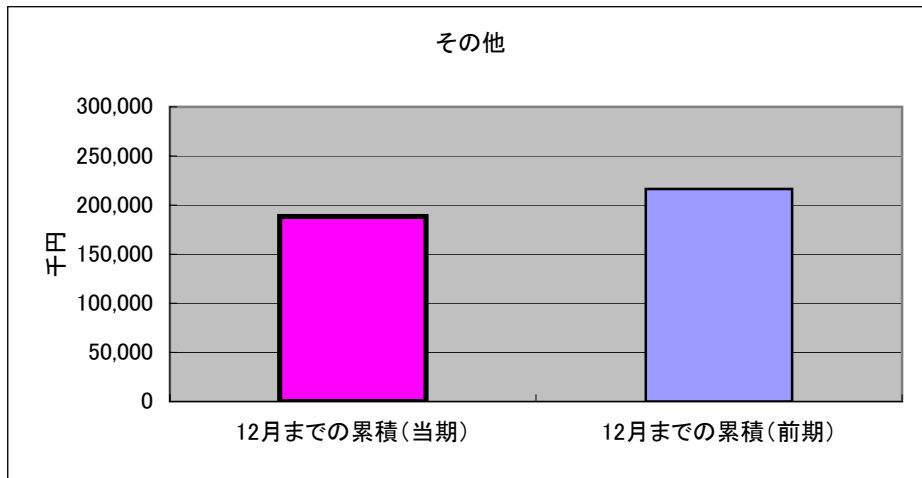
<遊具・乗り物>



特に当期第3四半期の 카테고리では、遊具・自転車カテゴリーの売上が前年同期間実績を3割以上超えて好調が目立ちます。

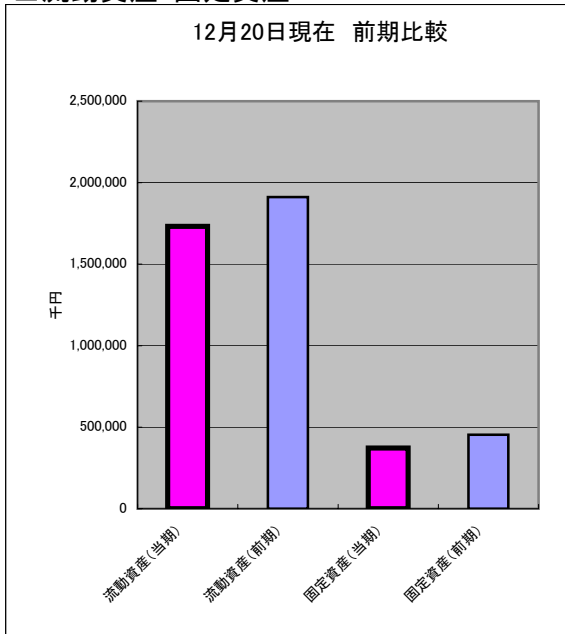
自転車シリーズでは不況とは無関係に値上げ後も販売増加基調が続き、新しい消費者を動員しております。9月度に発売した「いきなり自転車かじとり式」は、テレビ宣伝や広告を打つ前の段階で、店頭POPやネット販売の予約が相次ぎ、「いきなり自転車」がブランド化したかのような動きとなっています。税込み2万円クラスの高額アイテムを加え2車種展開の三輪車も、当四半期で店舗カバレッジが広がり、売上増に繋がっています。

<その他(季節もの玩具・海外販売等)>



＜財務の状況＞

■流動資産・固定資産



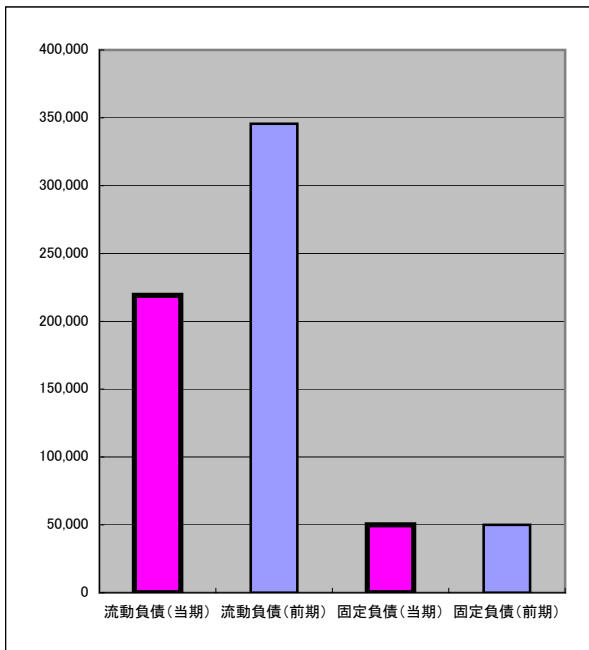
金融市場の急激な悪化により、第3四半期末および11・12月度末の資産の時価評価に大きく影響を受けております。

流動資産の現金及び預金における外貨預金や固定資産における投資有価証券は、いずれも含み損により減少しました。

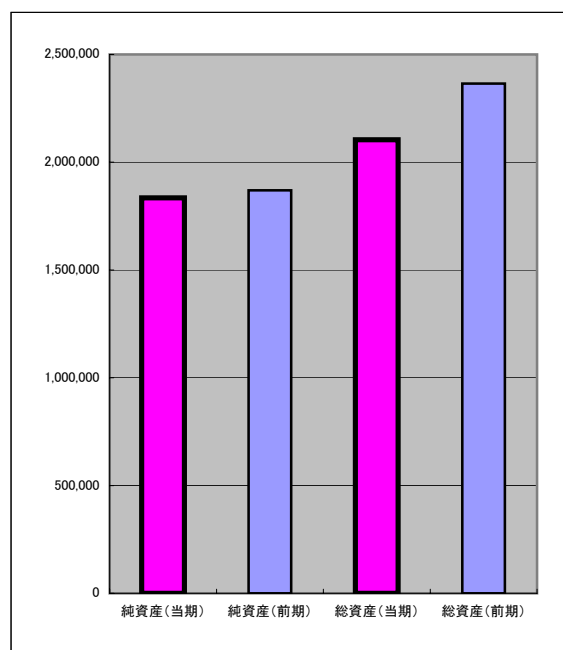
12月度末における総資産は、前年同月末との比較で2億61百万円減少の21億4百万円となりました。

純資産は18億35百万円となり、その結果、自己資本比率は87.2%となりました。

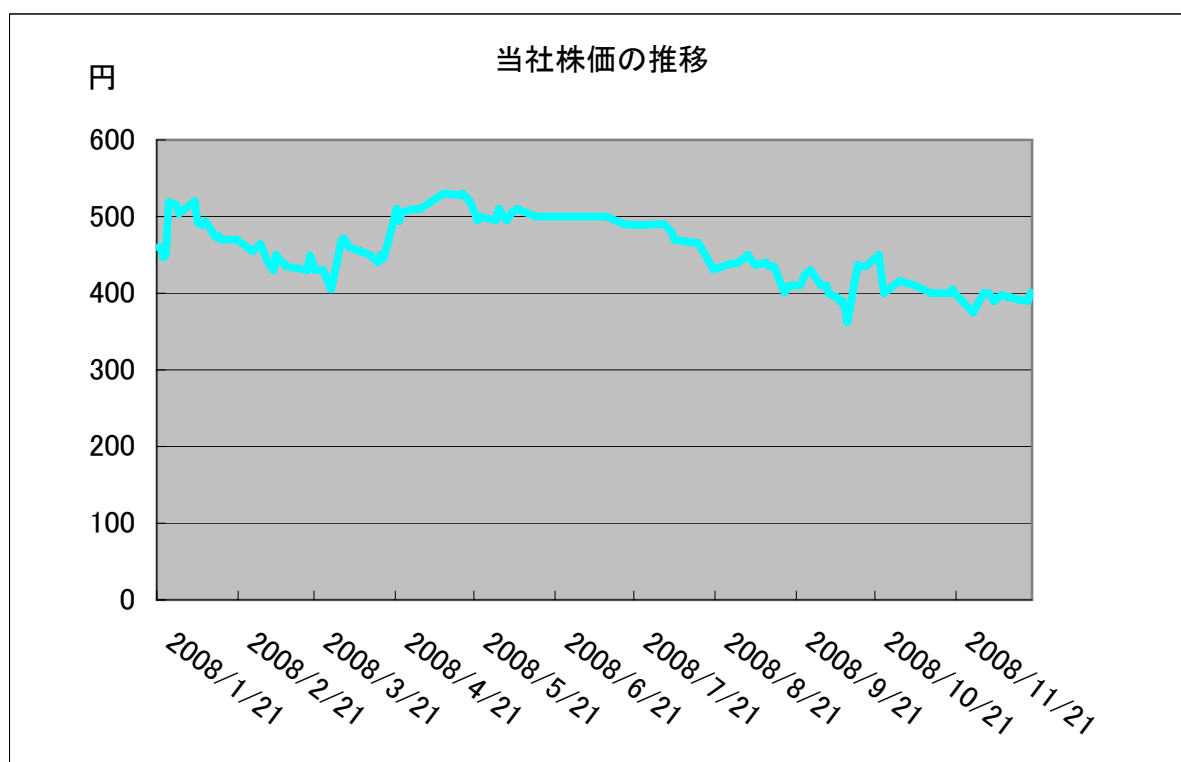
■流動負債・固定負債



■純資産・総資産



＜当社株価の推移＞



(2008/12/20現在)

◆発行済み株式数	4,437,500株
◆自己株式数	79,816株